



目次	
●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3～4
●専門部の活動	5
●郡市教頭会ネットワーク	6
●新入会員の声	7
●随想	8



## 令和の時代を拓く 新たな「教頭」像の創造を

新潟県小中学校教頭会

会長 野村直樹

(新潟市立新飯田小学校)

5月の県小中学校教頭会理事会において選出され、代議員会において承認いただき、今年度会長を務めさせていただくことになりました。元年度末から続く新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、多様な業務に対応せざるを得ない状況の中、学校の要として日々ご尽力いただいている県内の教頭先生方のことを思うと、責任の重さを痛感しています。微力ではありますが、精一杯取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度に入り、運動会や修学旅行等の学校行事、水泳授業や校外学習、部活動等、各校とも感染症対策を施しつつ、前年度までの経験をもとにアップデートして進められてきたのではないのでしょうか。また5月下旬に文部科学省より「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」の留意点が示され、県・市町村教育委員会の方針や留意事項のもと、各校にて感染症対策と熱中症予防を踏まえたハイブリッド型の校内マニュアル作成、児童生徒らへの注意喚起、保護者・地域への周知などの対応がなされたことと推察します。

コロナ禍に伴う学校対応は、校長のリーダーシップのもと、学校規模や立地状況等を踏まえ、中止や延期、規模縮小、分散開催、保護者の参加制限等、学校裁量の判断がいつも迫られました。その経験から、私たちが改めて実感したのは、「最適解」と「説明責任」の大切さです。先行き不透明で絶対的な正答が見通せない中、全ての人の賛同を得ることは不可能だが、ある程度の納得、許容を得られる「最適

解を見つける」こと、そして、その根拠や判断する基準などをなるべく具体的に示し、「丁寧に説明する」こと。この努力を厭わぬ学校の誠実な姿勢は、必ず保護者や地域の信頼に繋がったはずです。今後も校長の判断や実行を補佐する参謀役として、また他の教職員の英知を結集させる旗振り役として、「最適解」を見出し、「説明責任」を果たしながら、With コロナ、After コロナを見据えた学校づくり、教育活動の創造に邁進していきたいものです。

本県教頭会も、研究活動を中核に据えた会員相互の交流を重視した活動を、コロナ禍の経験を踏まえ、より最適な開催方法を工夫しながら進めていきます。第58回新潟県小中学校教頭会研究大会は、3年振りの全県開催です。研究主題「未来に生きる力を育む 魅力ある学校づくり」のもと、サブテーマ「夢・志をもち、他者と協働しながら未来を拓く子どもを育む学校づくり」3年次の集大成の年となりました。県内各地から届く優れた実践の有効性や妥当性の検証、互いの実践や意見交換から学ぶことを通して、未来を拓き、令和の時代における新しい「教頭」像の創造に挑戦していきましょう。

- ①個性・能力を伸ばし、可能性に挑戦する  
⇒ 「自立」する教頭
- ②多様性を尊重し、共に支え合い、高め合う  
⇒ 「協働」する教頭
- ③自立・協働を通じて新たな価値を創造する  
⇒ 「創造」する教頭



## 臆せず柔らかに

副会長 有坂 一郎  
(上越市立大町小学校)

令和4年度がスタートして早くも3か月が経過しました。様々な制限・制約が少しずつではありますが緩和されてきています。一方で、感染症に関する複雑な対応を少なからず経験しているせいでしょうか。自らの心の内を覗いてみると臆病になっていることも否定できません。

目の前には瞳を輝かせ、物事に懸命に取り組む子どもたちの姿があります。そして、子どもたちの可能性を絶対的に信頼し、一人一人に寄り添いながら成長を支えようとする教職員の姿があります。

この不変の姿を生み出しているのはまぎれもなく学校という場であり、改めて思うことは、学校は子どもと教師の「自己実現」を大切にできる場ではないということなのです。

令和の日本型学校教育の創造をはじめ、学校現場には依然として取り組むべき課題は多くあります。臆することなく、柔らかな心を持って日々取り組んでいきたいものです。今年度も、よりよい明日を志向しながら、会員相互の連携を一層図る県小中学校教頭会でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 「常在戦場」

副会長 寺井 昌人  
(長岡市立阪之上小学校)

ようやくウィズコロナの時代が来たといえる状況となりました。このような状況の中、県下各地区・地域では、花火大会などのイベントが開催される等、世の中が回復に向けて動き出してきました。もちろん私たちの学校現場も変化を伴いながら回復に向かっていきます。

さて、公開が延期されていた「映画『峠』」が上映されています。この映画に関わって「常在戦場」という言葉があります。ビジネス業界でも使用されている「常在戦場」とは、言葉の通り「常に戦場に

いる心構えで事をなせ」という心得です。ウイルス禍で変化する日常、GIGA スクール構想で変化が加速する教育環境、働き方改革、学習指導要領の理念の具現、いじめ・不登校の対応、そして様々なイノベーションが絶え間なく起こる現在、これまでの常識が絶えず更新され変化しています。やはり、この状況下を生き抜くためには変化に対応しながら「常在戦場」の精神をもつことが必要であると考えます。

この県教頭会が会員相互に学び合う場となり、県の教育活動をさらに推進していけるような会となれるよう精一杯努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 今こそ、小中共に

副会長 長谷川 聡実  
(新潟市立東新潟中学校)

主体的・対話的で深い学びの実現、コロナウイルス感染症対策、ICTを活用した授業づくり・学級経営等、今取り組むべき課題は、小学校も中学校も同じです。

私は、現任校に赴任する前、行政に4年間勤めていました。その間に約280の授業を参観させていただきました。そこで、強く感じたことは、小学校、中学校、高等学校も、学校で大切にすべきことは変わらないということでした。子どもが夢中になって課題に取り組む姿、学級の仲間目を見て頷きながら聴く姿、新しい発見をしたときの驚きと喜びの表情。これらは、小、中、高どこへ行っても見られた姿です。この姿を引き出すために、教師はたゆまぬ努力をしています。授業参観後、「この学習課題は、児童生徒の思考をゆさぶるものになっていたか」、「対話の質は高まっていたか」、「振り返りは子どもにとって意味のあるものになっていたか」などを小中高関係なく、どの授業者とも熱心に語り合えたことに、胸が震える思いでした。

新潟県小中学校教頭会は、小中が一緒であることにとても意味があると思います。これまで以上に小中で課題を共有し、共に学び合い、高め合いながら、児童生徒が生き生きと学べる学校教育の実現に向けて、精一杯努めていきたいと思っています。

## 令和4年度 本部役員紹介



幹事長 **高橋 和仁**  
(新潟市立大鷲小学校)

この度、幹事長を仰せつかりました。微力ではありますが、よろしくお願いたします。

小中学校の教頭先生方の「働き方改革」は、喫緊の課題です。どうすることで改善できるかについて、この機会にしっかりと考えていきたいです。

各部の内容をとりまとめていく役ですが、「自分にできることをしっかりと！」を肝に銘じて進めてまいります。



中越地区庶務幹事 **溝口 英磨**  
(長岡市立四郎丸小学校)

中越地区は「長岡市三島郡」「三条市」「小千谷市」「加茂市・南蒲原郡」「十日町市・中魚沼郡」「見附市」「魚沼市」「南魚沼郡市」「燕市西蒲原郡」の9つの教頭会で組織され、合計246名の会員数となっています。今年度は第58回全県研究大会の主管を「長岡市三島郡」が務め、オンラインで開催いたします。よろしくお願いたします。



会計幹事 **和田 功**  
(新潟市立濁川小学校)

コロナ禍、制限が多い中で、いかに充実した教育活動を進めるか、皆様も腐心されていることと思います。勤務校では、創立百五十周年を迎える年にあたります。PTAや地域の方々が、こんなときだからこそ、快くお力をお貸しくださっています。教頭会の活動も、皆様の知恵と協力が必要です。よろしくお願いたします。



下越地区庶務幹事 **風間 健二**  
(新潟市立五十嵐小学校)

「職員室の学級担任」としての役目を果すべく日々奮闘しています。教職員の気持ちに寄り添い、やる気を引き出し、充実感・達成感を味わえるようにするにはどうすればよいか、日々迷いながら仕事をしています。今年度から県教頭会の仕事を担うことになりました。県教頭会の皆様のために微力ながら精一杯努めます。よろしくお願いたします。



上越地区庶務幹事 **松岡 貴徳**  
(上越市立大手町小学校)

上越地区（上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市）教頭会の連絡・調整役として、微力ではありますが、引き続き務めさせていただきます。

このような状況下におかれているからこそ、創造性や柔軟性を発揮し対応する力が、私たち教頭に求められているように思います。

全県の情報を共有し合いながら、学校の要としての教頭の役割が果たせるように、そして、児童生徒一人一人の笑顔の実現のために、尽力して参ります。よろしくお願いたします。



下越地区庶務幹事 **尾矢 貞雄**  
(新発田市立豊浦小学校)

新発田市に赴任した年に勤務校の閉校を経験し、翌年には近隣4小学校が統合し新設校の開校を経験しました。「自分で決める 人を大切にする 問い続ける」の教育目標のもと、子どもたちと共に、よりよい学校づくりを目指して教育活動に取り組んでいます。新発田市の勤務も3年目となりました。

役員を仰せつかり身が引き締まる思いです。微力ではありますが、責務を果たすことができるよう力を尽くしてまいります。よろしくお願いたします。

## 会計監査

脇川 幸治	妙高市立新井中学校	横山 学	新潟市立五十嵐中学校
宇佐美 崇	長岡市立川崎小学校		

## 理事

大桃 和行	糸魚川市立能生中学校	浅山 景	妙高市立斐太北小学校
若井 義弘	十日町市立十日町小学校	元川 一典	燕市立小中川小学校
佐藤 史人	新潟市立大通小学校	網代 鋼一	胎内市立胎内小学校
荻谷 隆雄	上越市立清里中学校	力間 博隆	柏崎市立第三中学校
渡辺 豊	長岡市立宮内中学校	松井 晃一	小千谷市立小千谷中学校
牧野 剛	新潟市立松浜中学校	渡邊 直樹	阿賀野市立安田中学校

## 事務局

横田 誠	脇屋 雅実
------	-------

## 代議員

上越	大瀬 孝志	上越市立大瀧小学校
	柳澤 淳	上越市立雄志中学校
柏崎・刈羽	桑原 浩史	柏崎市立柏崎小学校
糸魚川	齋藤 雅彦	糸魚川市立西海小学校
妙高	松屋 徹	妙高市立新井小学校
長岡・三島	渡辺 登	長岡市立表町小学校
	伊藤 勝広	長岡市立千手小学校
三条	知野 昌央	三条市立月岡小学校
小千谷	郷 正樹	小千谷市立小千谷小学校
加茂・南蒲	笠原 崇	加茂市立加茂小学校
十日町・中魚	伊藤 貴史	十日町市立十日町中学校
見附	大田 克	見附市立見附中学校
魚沼	小野塚 眞郎	魚沼市立堀之内小学校
南魚沼	笹岡 正	南魚沼市立六日町小学校
燕・西蒲	笹川 剛史	燕市立燕東小学校
新潟小	浅嶋 隆	新潟市立中之口東小学校
	藤塚 静治	新潟市立日和山小学校
新潟中	長谷川 智明	新潟市立木戸中学校
	大橋 正治	新潟市立潟東中学校
新発田・北蒲	高山 雄一	新発田市立猿橋小学校
村上・岩船	齋藤 望	関川村立関川中学校
五泉・東蒲	水藻 正美	五泉市立五泉小学校
阿賀野	佐藤 仁志	阿賀野市立水原小学校
佐渡小	椎 一夫	佐渡市立河崎小学校
佐渡中	本間 学	佐渡市立南佐渡中学校
胎内	中野 忠弘	胎内市立中条小学校



# 専門部活動紹介



## アンケート調査にご協力を

調査要請部長 **鷺尾 健仁**  
(新潟市立青山小学校)

今年度も「勤務実態調査」と「県義務教育の振興に関する要望書作成に関わる調査」を行います。皆様のご協力をよろしくお願いします。

「働き方改革」は、企業の大小を問わず重要な経営課題の一つとして認知されるようになりました。さらに、ウイルス禍により、世の中の「働き方」は一層大きく変わりました。

では、学校現場はどうでしょう。教頭職の時間外在校時間が大きな問題と指摘されています。

昨年度の調査では、「健康」と回答した割合が、前年度比-10.6%。また、「疲労感がある」と回答した教頭は、約8割にも上りました。「健康が第一」と教職員に話す立場の私たちが、疲労感たっぷり。果たして生き生きとした職場は生まれるのでしょうか。

今年度も皆様からお答えいただくデータを大切に取り扱い、しっかり分析してまいります。



## 「全県オンライン開催」を通して 力量の向上とつながりの強化を

研究部長 **松田 朋子**  
(長岡市立豊田小学校)

今年度は、第12期全国統一研究主題「未来を生きる力を育む魅力ある学校づくり」を受け、新潟県教頭会として設定したサブテーマ「夢・志をもち、他者と協働しながら未来を拓く子どもを育む学校づくり」の3年次となります。昨年度よりオンライン開催を取り入れ、新たな一歩を踏み出しました。今大会は、長岡市三島郡教頭会が主管となり、「全県オンライン開催」が計画されています。校務への影響を最小限に留めた持続可能な研究大会の在り方を提案していただきます。また、各分科会の提案者の皆様からは、発表に向けた準備を進めていただいております。

県内の会員が一堂に会す11月4日の研究大会では、互いの実践から学ぶことを通して、学校運営の力量を高めるとともに、会員同士のつながりを強固にする機会にしていきたいと考えています。



## 連帯意識を高め つながりを広げる

広報部長 **金子 大**  
(新潟市立早通中学校)

広報部では、県教頭会の活動方針や活動状況を紹介することによって、本会に対する理解と協力がいただけるよう努めます。また、郡市教頭会の取組や会員の皆様が考えていることなどを紹介し合うことで会員相互の連帯意識を高めたり、つながりを広げたりできたらと思います。

会報は令和2年度からウェブ上でご覧いただく形となっております。紙の方が良いというご意見もありますが、各郡市事務局の発送業務の軽減や発行経費の削減等につながります。ご理解いただければと思います。

なお、会報の発行に際して、会員の皆様からは、原稿執筆等にご協力いただくこととなります。また、各郡市教頭会長の皆様からは、執筆者の選定や原稿の執筆依頼をお願いします。いずれもご多用のところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。



## 教育課題部の活動

教育課題部長 **久保 俊幸**  
(長岡市立東中学校)

教育課題部は、県の重点教育課題を的確に把握し、その解決に向けどのように取り組むべきかを示唆し、具体的な対策・実践・結果の分析等、課題解決への推進役を担います。

例年の傾向を見ますと「組織・運営に関する課題」への取組を記載される会員が最も多いと同時に「上手く取り組めていない」と回答する会員も最も多いという特徴があります。工夫を凝らした様々な取組が紹介されていますので、ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

アンケートの回答方法につきまして、今年度からGoogleフォームを活用し、より会員の皆様が簡単に回答できるよう工夫しました。お一人でも多くの方からご回答いただきますようお願い致します。部員一同、みなさんの素晴らしい取り組みを一つでも多く紹介するとともに、お役に立てる情報をできるだけ多く提供できるよう精一杯努めてまいります。今年度もよろしくお願い致します。

# 郡市教頭会ネットワーク



## 「ひとづくり 地域づくり 未来づくり」の推進

上越市教頭会

大瀬 孝志

(上越市立大湊小学校)

上越市教頭会は、小学校48校（上教大附属小含む）、中学校24校（直江津中等、上教大附属中、含む）の計72人の教頭で組織されています。

### 1 組織

上越市は、地域も広く会員数も多いため、10か校程度で構成される8つのブロックに分かれ、それぞれにブロック長・研修部・厚生部を決めて活動をしています。各ブロック毎に研修を計画したり、教頭会全体の活動に協力したりするようにしています。

### 2 研修

研修は、全会員が集まる全体研修、各ブロックで計画し行うブロック研修、小中毎に行う教頭会研修を行っています。

全体研修では、全県研究大会発表者のプレ発表や内容の検討を行う予定です。

ブロック研修は、各地域の特性を生かした研修を計画します。例えば、地域にある水族館のバックヤードを見学したり、事務職員と合同で学校事務の共通理解や業務改善などを話し合ったりする研修などを行っています。

### 3 ネットワークの拡大

コロナ禍でなかなか顔を合わせて話す機会が取れない状況ですが、上越市の校務支援システムを介して情報の共有や意見交換、アンケートの集約をしています。そして、同様のシステムが近隣の市にも導入され、異動後もスムーズに仕事ができるようになってきました。また、困ったときに気楽に相談できる仲間が、上越市だけでなく上越エリアへとネットワークが広がっています。

上越市の第2次総合教育プランの基本目標「ひとづくり 地域づくり 未来づくり」を推進していくために、「教員の資質向上」「学校・家庭・地域の連携」など教頭会が担う部分はたくさんあります。これからも、教頭同士のつながりを広げ、共励切磋していくことで力量を高め合っていきます。



## 小中一貫教育推進のための パイプ役としての教頭会

三条市小中学校教頭会

会長 矢野 武志

(三条市立第三中学校)

三条市小中学校教頭会は、小学校19校、中学校8校、義務教育学校1校の合計28校、30名で活動を行っています。外部講師や市教育委員会指導主事による講話などを含めて年間6回の研修会を実施しています。また、情報交換の場が毎回設定されており、各校の現状や課題、今後の取組などが話し合われています。

三条市は、小中一貫教育を推進しており、市内全ての学校が小中一貫教育校として、学園（中学校区）体制を創設し、義務教育9年間で一貫した教育活動を行うことで、学園の学校、地域、保護者の一体感を更に醸成し、子どもの豊かな成長につなげる教育活動を実践しています。三条市教頭会では、その小中一貫教育推進を更に充実させ、児童生徒にとって一貫性のある学習指導、生活指導を行うための学校間のパイプ役として、活動を行っています。教職員や児童生徒が連携・交流を深めるため、教頭として何ができるかを常に念頭におき、中学校区間の連携はもちろん、他の中学校区における取組の情報を得ることで、更なる小中一貫教育の推進が期待されると考えています。

昨年度は、コロナ禍の影響で、計画されていた研修会が残念ながらいくつか中止になりましたが、今年度は感染症対策を万全に施したうえで、予定通り研修会を実施することが、第1回教頭会で承認されました。今後は、教頭会研修会を通して、三条市教育委員会、三条市校長会より御指導を頂きながら、教頭としての資質・能力の向上、学校運営における教頭としての役割など、深く学んでいく所存であります。

また、私たちは教育現場における働き方について常に考慮し、教職員一人一人への配慮を大切に、健康で明るく元気な職場環境を作り上げること、そのことによって児童生徒が生き生きと学校生活を送ることができる、そんな学校づくりの一助となる教頭を目指しています。



## つながりを大切に

柏崎市立枇杷島小学校

近藤 亜矢子

新任教頭として赴任して3か月。新型コロナウイルス感染症に関わること、様々な報告文書、児童や教職員一人一人との関係づくり、地域や学校を支える関係機関との対応など、多岐にわたる業務。わからないことが多く、自分の力のなさ、世間知らずであることを実感した。申し訳なさを感じることも多々ある。そんな時いつも助けてくれるのは、温かく丁寧に教えてくださる校長先生、私の思いや話を聞き、応援やアドバイスをくれる先輩方、仲間、友達の存在。そして「教頭先生！おはようございます。」「教頭先生、～だね。」という子供たちの言葉や表情である。そんな人のつながりの中で、元気に仕事に向かい、過ごせていることへのありがたさを感じる。

笑顔で穏やか、広い視野をもち、温かい教頭になれるよう学び続けたい。背伸びしすぎず等身大で、様々な仕事にチャレンジしていこうと思う。



## 「学校を守る」とは

村上市立さんぼく小学校

嵐 直人

4月、お世話になっている先生からメッセージをいただいた。そこには、次の言葉が。

「子どもを愛し、地域を愛し、教職員を愛し、以って学校を守るべし。」

新任教頭になって2か月が過ぎた。教頭業務に慣れずに、まわりに迷惑を掛けていることも多い。しかし、いつもこの言葉を大切に目の前のことに向き合っている。特に、「学校を守る」とはどんなことを意味するのか考えている。今の私なりの最適解は、「動く」ことである。子どものため、地域のため、教職員のため、動く。それによって、学校にかかわる全ての人やものを「守る」。今後は、「守る」ことの具体を1つずつ身に付けていきたい。

現任校の校長先生は、いつもあたたかく、的確に導いてくださる。やる気に満ちふれた教職員に囲まれている。感謝して、日々精進していく。



## 川のように山のように、

魚沼市立小出小学校

草分 智昭

新任教頭としての赴任初日。使命感に燃えている私。朝、校長室には2番乗りでした。窓からは、近くの佐梨川のせせらぎが聞こえてきました。心が落ち着く音でした。「この川のように爽やかな教頭になろう」と決意しました。午後からは挨拶回り。校長先生の運転に身を任せ、周囲を見やると四方八方は大きな山々。小出は盆地です。包み込まれる安心感。「この山のようにおおらかな教頭になろう」と決意しました。あれから早3か月。当初の思いとは裏腹に、業務の締め切りに追われ、次々と連絡の入るコロナ対応に追われ、慣れない校務支援システムに翻弄されています。あまりのマルチタスクに脳が悲鳴を上げそうです。

しかし初心を忘れたわけではありません。若い先生方と校長先生をお支えし、校内を整え、できればなにか一つ改革をして、正に「草分け」存在になれるよう、日々精進と考えています。



## 学校の仕事は すべて教頭の仕事

胎内市立築地中学校

田邊 和史

本年度から教頭会の仲間入りをさせていただきました。教頭の仕事は、学校内外と多岐に渡り、わからないことばかりで、市内の教頭先生方に聞きながらなんとか日々を過ごしています。困ったときには、優しく教えてくださり、本当に感謝しています。

前任校の藤井聡校長から「学校の仕事はすべて教頭の仕事。どんなことにも首を突っ込みなさい。何が起きているかを感じなさい。」と厳しく教えていただきました。教頭になった今、どんな時にも、職員の声に耳を傾けるように意識しています。うまくいかない職員間に入って、ぶつかることもあります。そのままではだめなとき、指導することもあります。辛いこともたくさんありますが、教頭会の先生方と取組や悩みを共有し、保護者、地域から信頼される学校にしていきたいです。これからもよろしく願いいたします。

# 随 想



## 大地の芸術祭

十日町市立千手小学校

丸山 慎之輔

青々とした若葉と遠くの山々の残雪の白さとが美しい「妻有」(つまり)の地で、「大地の芸術祭」が始まった。この芸術祭の素晴らしさは、豊かな妻有の自然を作品に生かしていることと共に、地域の人々が参加、協力して創り上げることにある。

当校も近隣の学校と一緒に、ある作家の作品に参加している。先日のワークショップでは、土地に見立てた50cm四方の板の上に、様々な木片を積み重ねることで、テーマである「私たちの妻有」を表現した。「これが信濃川と妻有大橋。ここが学校で…。」「私ね、お父さんとお母さんに、家を建ててあげるんだ。その家だよ。」作家の熱意と丁寧な指導のおかげで、全校児童が自分の想いを形にすることができた。今後、子どもたちの作品を組み合わせ、一つの作品に深化させるとのこと。完成が楽しみである。

妻有の自然の豊かさ、美しさを愛し、この地に住む子どもたちと共に、その素晴らしさを表現しようとする作家の姿は、県が示す「地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり」に通ずるものがある。私も大好きな千手の「ひと・もの・こと」と関わってどんなことができるか、職員や子どもと一緒に見つめ直したい。



## つなぐ ～幼児教育と小学校教育と～

新潟市立上山小学校

才川 洋子

2年前、幼稚園の教頭として勤務しました。これまで未経験なだけにわくわく感のある毎日でした。

幼稚園には小学校以上の学校で使用している教科書等はありません。ないからといって、漫然と子どもの遊びに対応したり、自由に活動したりしているだけではないのです。長期的な目標から発生した意図のもと、「見付ける」「見立てる」「真似る」「考えたり試したりする」「目的の実現に向けてあきらめずにやり遂げる」等々が、その姿の中に現れるような「遊び」を展開させているのです。

新潟市は、共通幼小接続期カリキュラムが作成されています。これは、前述の遊びを通した学びが小学校以上での学ぶ力の基盤となるという考えのもと展開されています。

この春、小学校へ異動となり、これまでとは違った視点で、入学後の子どもたちを見つめています。その活動の様子から、1年生はゼロからのスタートではなく、幼児期の学びを活かし、つないだものの上に入ったスタートだと強く感じています。

両校種の教頭職を通して得た経験が、「つなぐ」「引き出す」という考えを大切にした教育活動に役立つよう取り組んでいきます。

### 令和4年度 各種大会日程

- 1 全国公立学校教頭会研究大会岩手大会 7月28日(木)29日(金)
- 2 第63回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会神奈川大会  
11月10日(木)11日(金)  
第58回新潟県小中学校教頭会研究大会(全県長岡・三島研究大会)  
11月4日(金)
- 3 全国公立学校教頭会中央研修大会 2月10日(金)

新潟県小中学校教頭会  
[事務局]  
県教頭会ホームページ  
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0911 新潟市中央区笹口2丁目7-17 和田ビル2F  
E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 244-8225  
https://www.niigata-kyotokai.jp/ FAX (025) 244-5060  
http://www.kyotokai.jp/